

2023年12月 8 日

各 位

会 社 名 ラクオリア創薬株式会社
代 表 者 名 代表取締役 武内 博文
(コード番号：4579)
問 合 せ 先 取締役 須藤 正樹
(TEL. 052-446-6100)

2023年12月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年12月8日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2023年2月14日の2022年12月期決算発表時に開示した2023年12月期（2023年1月1日～2023年12月31日）の業績予想を下記の通り修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2023年12月期 通期連結業績予想数値の修正（2023年1月1日～2023年12月31日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,799	260	242	183	8.74
今回修正予想 (B)	1,938	△409	△340	△426	△19.73
増減額 (B-A)	△861	△669	△582	△609	△28.47
増減率 (%)	△30.8	—	—	—	—
(ご参考) 前期連結実績 (2022年12月期)	2,918	866	904	723	34.50

2. 修正の理由

業績予想修正の主な要因は、交渉中のライセンス契約の締結や導出済みパイプラインのマイルストンの達成が、翌期にずれ込むこととなったためです。上記の交渉中のライセンス契約は、胃酸分泌抑制剤 tegoprazan (テゴプラザン) の日本国内を対象とした開発・製造・販売にかかる権利のライセンスについてのものであり、導出済みパイプラインのマイルストーンは、猫の体重減少管理の適応を持つELURA® (一般名：capromorelin (カプロモレリン)) の欧州における承認・発売を指します。これら期ずれ要因による当期業績への影響額はマイナス900百万円となります。なお、為替相場変動による業績への影響額は通期でプラス84百万円と見込んでおります。これは当初の為替レートが1米ドル125円に対し、期中平均レートが1米ドル138円程度となることによります。事業費用につきましては、前回発表比191百万円 (同7.5%) 減少する見通しとなっております。

以上の結果、2023年12月期の業績予想を、連結売上高1,938百万円 (前回発表予想値2,799百万円)、連結営業利益△409百万円 (同260百万円)、連結経常利益△340百万円 (同242百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益△426百万円 (同183百万円) に修正いたします。

なお、期ずれに伴う売上高は、2024年12月期に計上を予定しております。詳細は、本日開示「事業計画及び成長可能性に関する事項の修正に関するお知らせ」を参照ください。

以 上

※本日19時より、本件に関する説明会をオンライン配信にて開催いたします。詳しくはホームページ (<https://www.raqualia.com/ja/index.html>) をご覧ください。

※ 将来の事象に関わる記述に関する注意

業績予想につきましては、発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後起こりうる様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。